

今身近で変化している多様性への動きを紹介！

1. 【市内外の動き】

(1) 白根高校スラックス追加

令和2年度の入学式から10月末まで、制服の組み合わせを増やしました。男女の性差を意識しないでいい「ジェンダーレス」の価値観や性的少数者（LGBT）に配慮し、生徒の自主的な判断によって服装を変更できるようにしました。

(2) 白根高校でLGBT講演会開催

令和2年10月21日にLGBTの理解を深めようと、全校生徒を対象にした講演会を開催。講師は心と体の性が一致しないトランスジェンダーで、タレントの西原さつきさん。講演会に参加した生徒は、「当事者の話を聞くことができる貴重な機会だった。LGBTについてもっと知りたいと思った」と話しました。

(3) 600公立高校 制服に選択肢

性的少数者のうち、出生時の性別と自認する性別が異なる「トランスジェンダー」の生徒への配慮に加え、防寒面などから導入する高校も増え、県内では11校が導入しています。制服を男子用、女子用と限定せず選べるようにし、男子がスカートをはける高校もあります。

(4) 学校の「当たり前」が変化

男子はスラックス、女子はスカート。そんな学校現場の「当たり前」が、望まぬ制服の着用に悩むトランスジェンダーの生徒の存在が知られてきたことによって、着実に変化を生み出しています。

2. 【エンターテインメント】

(1) 「ミッドナイトスワン」という映画の題材になっている。

新宿のニューハーフショークラブ〈スイートピー〉では、メイクステージ衣装に身を包み働くトランスジェンダーの凧沙（草彅剛）。心身の葛藤を抱え生きてきたある日、凧沙の元に、故郷の広島から親戚の娘・一果が預けられる。叔父だと思い訪ねてきてた一果は凧沙の姿を見て戸惑うが、二人の奇妙な生活が始まるのです。

(2) 第90回アカデミー賞受賞「ナチュラルウーマン」

自分らしさを守るため差別や偏見に闘いを挑んだトランスジェンダーの女性を描き、第90回アカデミー賞で外国語映画賞を受賞した作品。主人公のマリーナ役を自身もトランスジェンダーの歌手であるダニエラ・ベガが演じました。

(3) アカデミー賞では、ジェンダーの視点がないとノミネートされないとされるニュースがありました。

3. 【その他】

(1) 中学の公民の教科書「中学社会 公民 ともに生きる（教育出版株式会社）」にLGBTが取り上げられる。

東京のある中学校で「LGBTについて考える会」が発足しました。LGBTの人たちに対する差別や偏見の実態を知り、生徒たちは驚くとともに、LGBTのような「自分らしさ」に関わる問題は、すべての人に共通する問題だと考えるきっかけになりました。